

## 米穀情勢

### 1. 販売情勢

#### (1) 令和3年産米の販売状況について

全国的な令和3年産米の販売環境については、コロナ禍が長期化したことにより、各卸とも古米の持越し在庫を大きく抱えながらのスタートとなりました。依然、中食・外食とも需要が戻らないなか、一旦収束するかと思われたコロナウイルスも第7波が襲来し、さらなるインバウンド需要の回復が遅れ、業務用米を中心に需要減少に拍車をかける状況となっております。

当JAでは既存の取引先との継続した取り組みにより、契約についてはすべて終了しております。ただし、銘柄により違いがあるものの、出荷は例年よりも遅れて推移していることから、今後も計画的な引取りを要請しているところです。

#### (2) 令和4年産米の需給の見通しと概算金について

令和4年産米の需給環境の見通しは、全国的な3年産米の販売の遅れから、持越し在庫が大幅に増加することが確実な状況となっております。各都道府県で4年産の非主食用米への作付転換面積を、昨年比で4.3万ha程度の減少を見込まれ、需給均衡の水準には達成したものの、需給改善までには至らない状況にあります。農林水産省より別表のとおり令和4～5年の需給見通しが示され、令和4年6月末の民間在庫は217万トンと、適正とされる180万トンから、すでに37万トンの過剰となっております。現在もコロナ禍が長期化しているなか、さらに需要が落ち込むことも想定されます。

一方で、生産現場では米価低迷と肥料・燃料などの生産コスト上昇により所得低下に直面しており、今後の農業経営に与える影響として厳しいものになることが懸念されております。国では、「肥料高騰対策事業」として788億円を支援金として年明けにも支払う方向を示しましたが、今後も、JAグループでは国への緊急対策を強く要請していくとともに、生産者が安心して農業を継続できるような米価維持のための働きかけを行っていきます。

また、概算金については、8月中旬に新潟県でJA概算金が発表され、新潟コシヒカリでは昨年、12,200円だった改定前の当初価格から、1,500円の引き上げとなっております。他県でも前年より上げる方向で検討されているようです。山形県産米の概算金についても、9月中旬の全農山形運営委員会でJA概算金が示される予定となっておりますので、当JAの生産者概算金が決定しましたら速やかにお伝えいたします。

※農林水産省は、令和4年7月27日に食糧部会を開き、主食用米等における今後の需給見通しを示しました。一部抜粋しポイントを紹介します。

## 【別表】

### ●令和4年／5年の主食用米等の需給見通し

(単位：万トン)

		食糧部会試算
令和4年6月末民間在庫量	A	217
令和4年産主食用米等生産量 (参考：前年生産量)	B	675 (696)
令和4/5年主食用米等供給量計	$C = A + B$	892
令和4/5年主食用米等需要量 (参考：前年需要量)	D	692 (702)
令和5年6月末民間在庫量	$E = C - D$	200

(B) 令和4年産の主食用米等生産量については、6月末時点の作付意向調査の結果(4.3万ha減)を基に試算し、平年作の場合での見込生産量になります。

(D) 令和4/5年主食用米等需要量の見通しを基本指針(1人当たりの消費量に人口を乗じる手法)で算出した数値です。

(E) コロナ禍が長期化していることから、流動的ではあるが、令和5年6月末在庫は適正水準(180万トン)を上回り、需給の過剰感は変わらない状況が予想されます。

## 2. 4年産品目毎の取組計画

### 【主食用米】

当JAの4年産米の予約数量は主食用米で57万5千俵、作付面積で6,537haとなっており、昨年の予約数量から約2万9千俵減、生産調整から作付面積で402ha減少しています。品種構成では「はえぬき」が約2万6千俵減少し34万4千俵となり、全体の59.9%を占めています。「つや姫」は8万1千俵で14.1%、近年単収の良かった「雪若丸」は作付面積微増により約1千俵増で7.2%となっています。

コロナ禍が長期化していることにより需要の減少が懸念されますが、当JA産は既存の取引先からは品質など一定の評価をいただいております、引き続き安定した供給を求められていることから、生産者手取りの向上を目指し、取引先と交渉を進めております。

### 【加工用米】

加工用米は、昨年から約8千俵増加の13万5千俵を取り組みます。販売先は、地域流通加工用米として大手酒造メーカーや冷凍食品メーカーに販売します。主食用米同様、加工用米需要も低調ですが、水田リノベーション事業に組み、実需先と早期に契約を進めました。

### 【飼料用米】

飼料用米は、生産調整の推進品目として取り組み、昨年比191ha面積増となり、1,425.0haの作付面積となりました。販売先はすべて(株)平田牧場を予定しています。産地交付金など生産者手取りの面や、販売についてもコロナ禍の影響もなく安定した販売となっております。

## 【米粉用米】

米粉用米は、昨年より微減の80.0haの取り組みとなります。近年、小麦アレルギーなどからグルテンフリーが注目され、米粉を使用した商品が増加しており、既存取引先からは契約数量の拡大を要望されています。

## 【輸出用米】

輸出用米は21.2haの2,166.0俵に組み入ります。国内の需要減少に歯止めがかからないなか、全農山形と協力しながら東南アジアの日本食チェーン店向けに販売を行います。

## 【大豆】

大豆の作付面積は、昨年より微増の753haとなりました。品種構成は「里のほほえみ」が58.1%、「エンレイ」が30.6%、「リュウホウ」が6.0%で昨年と同様の品種構成となっています。全国的に大豆は3年連続の不作となったことで、収穫後入札取引においては引き続き高値で推移しております。また、近年の健康志向を背景に国産大豆使用の納豆や豆乳の消費量増加により需要量は増加傾向にあります。国産シェアの拡大や、大豆関連製品の需要に応えるため、安定した生産数量が望まれています。

## 【そば】

そばの作付面積は、微増の252.2haとなりました。そばについては主要産地の北海道の作柄が豊作基調だと相場が下落傾向となり、近年は低価格で推移しています。コロナ禍による消費の減退も懸念されますが、販売先には相場に左右されない安定した販売価格と供給をお願いしていきます。



●令和4年産米の銘柄別出荷契約（予約）数量 単位：60kg/俵、（※45kg/俵）、%

銘柄	4年産		3年産（予約）		R4－R3増減
	数量	構成率	数量	構成率	
はえぬき	344,659.0	59.9%	370,949.5	61.3%	△26,290.5
つや姫	81,269.5	14.1%	79,890.5	13.2%	1,379.0
ひとめぼれ	17,299.5	3.0%	21,358.0	3.5%	△4,058.5
雪若丸	41,577.5	7.2%	40,479.0	6.7%	1,098.5
コシヒカリ	1,071.0	0.2%	1,122.5	0.2%	△51.5
ササニシキ	1,395.0	0.2%	1,570.0	0.3%	△175.0
開発米	87,633.5	15.2%	88,604.5	14.6%	△971.0
その他	439.5	0.1%	1,117.5	0.2%	△678.0
うるち米計	575,344.5	100.0%	605,091.5	100.0%	△29,747.0
醸造用米	1,837.5	—	1,902.5	—	△65.0
もち米	1,078.5	—	1,121.0	—	△42.5
主食用米計	578,260.5	—	608,115.0	—	△29,854.5
加工用米	135,071.5	—	126,432.0	—	8,639.5
備蓄米	0.0	—	0.0	—	0.0
輸出米	2,166.0	—	1,545.5	—	620.5
飼料用米	144,428.5	—	124,661.5	—	19,767.0
米粉用米	8,176.5	—	8,303.0	—	△126.5
大豆	15,929.5	—	15,357.0	—	572.5
※そば	2,537.0	—	2,448.0	—	89.0
合計	886,569.5	—	886,862.0	—	△292.5

# 令和4年産米穀の取り扱い



## 1. JA米と一般米の格差

昨年同様、一般米は△300円／60kg（税抜）の格差が設定されています。

## 2. 等級間格差

単位：円（税込）/60kg

区 分	等 級	概算金単価格差
う る ち 米	1～2等間	600
	2～3等間	1,000
も ち 米	1～2等間	600
	2～3等間	1,000
酒 造 好 適 米	特上～特等間	500
	特等～1等間	500
	1～2等間	1,000
	2～3等間	700

## 3. 高水分米と異物混入の防止を

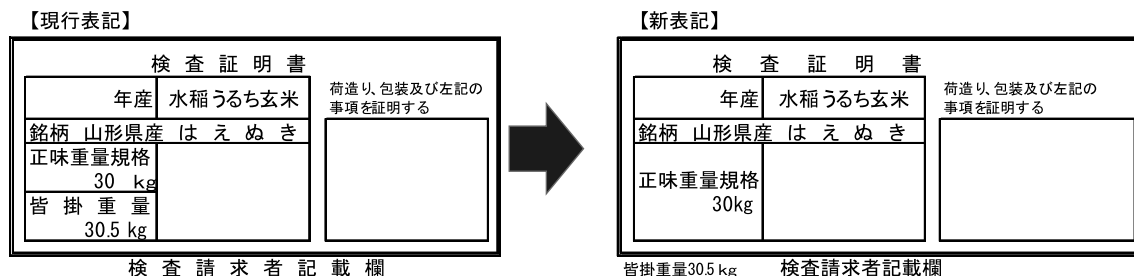
品質安定のため、必ず二段乾燥を実施して適正水分（14.5%～15.0%）に仕上げてください。入庫時15.1%～16.0%までの高水分米は別扱いとなり倉庫作業に支障をきたします。さらに16.0%を超えた米は規格外の取り扱いとなります。また、刈り取り時、特に倒伏したほ場では土・石などの混入や複数品種を作付けしている場合も異品種混入にご注意ください。

## 4. 紙袋の皆掛重量の表記について

「庄内みどり農業協同組合」と印刷されている紙袋では、農協出荷・農協委託検査・自家保有米用での使用に限ることとし、それ以外で外部に流通させないようにご注意ください。また令和3年産より農産物検査制度の見直しによる、皆掛重量の廃止の設定が設けられましたが、JAグループとしては従来通りの量目で検査することで決定しました。紙袋につきましては現在ご使用の紙袋をお使いいただけますが、取り扱いの注意事項は次ページのとおりです。



- ①令和4年産用紙袋は検査証明欄に皆掛重量欄の有るものと、表記の無い紙袋を供給することとなります。
- ②令和5年産から皆掛重量欄が撤廃となり、以前の紙袋を使用する場合は表記を訂正する必要があります。皆掛表記のある紙袋については令和4年度中に使い切るようご協力をお願いいたします。



※各包装ごとの皆掛重量は下記のとおりです。

- フレコン皆掛重量1,092kg以上（正味重量1,080kg+入目重量9.0kg+フレコン重量3.0kg）
- 紙袋皆掛重量30.5kg以上（正味重量30kg+入目重量270g+紙袋重量230g）
- 飼料用米、大豆、そば、規格外米、くず米も昨年同様の皆掛重量になります。

## 5. 出荷契約金の金利相当額

金利相当額は出荷契約金返還後に実質金利相当額を計算して、後日徴収します。

## 6. 特別栽培米「つや姫」の取り扱い

### (1) 生産・出荷基準について

- ①「つや姫/栽培マニュアル」に基づき生産を行う。
- ② 出荷基準を設定して取り組み、食味計によるタンパク質含有率7.5%以下（乾物換算）を基準として自主仕分けを行う。



## ■米穀集荷対策

### 1. フレコン検査

作付面積の大規模化や生産者の高齢化に伴い、労力軽減を図るため一般倉庫でのフレコン検査を行います。

#### (1) 検査場所拠点化について

搬入はフォークリフトで行い、作業性のよい倉庫を選定し検査を実施します。フレコン搬入は既存の個袋検査との混乱を避けるため、搬入時間を分けるなどの対応をします。

#### ●フレコン検査倉庫

検査場所	地 区	備 考
西 荒 瀬	北部・西荒瀬・本楯	主食・加工・飼料
上 田	上田・八幡	〃
北 平 田	北平田	〃
中 平 田	東平田・中平田・酒田	〃
広 野	広野・浜中・新堀	〃
平 田・砂 越	平田	〃
松 山 集 中	平田・松山	〃
遊佐ばら・高瀬ばら	遊佐・稲川・西遊佐・蕨岡・高瀬・吹浦	加工用米のみ
稲 川	鳥海	主食・加工・飼料

※委託搬入は、該当検査場所以外へ搬入する場合があります。

#### (2) 対象銘柄

##### 【主食用米】

「はえぬき」「つや姫」「ひとめぼれ」「雪若丸」を基本とします。少量品種は、実需先より個袋の要望が強いことから紙袋を基本とします。

##### 【加工用米】

「はえぬき」「ひとめぼれ」を基本とします。作況調整により出荷後、主食用米へ制度変更になる場合があるので、一部紙袋の出荷をお願いします。

##### 【飼料用米】

今年産も個人調製分を倉庫で検査買入れします。後記の「飼料用米のフレコン出荷および農産物検査について」をご参照ください。



### (3) 規格・品質

- ①検査するフレコン全ての品質と水分が均一であることとします。フレコン内で層になったり、品質が均一でないものは規格外となります。(全量同一等級)
- ②皆掛重量が1,092kg以上(正味重量1,080kg+入目重量9.0kg+フレコン重量3.0kg)
- ③水分は14.0%～15.0%とし、共乾施設での規格と同一になります。

### (4) フレコン出荷の概算金

- ①概算金は紙袋代金を差し引いたバラ単価になります。
- ②フレコンはJAからの貸与となります。

## 2. フレコン集荷支援対策

### (1) 運賃助成

フレコン検査場所の拠点化により、地区外への搬入となった場合、委託搬入者に掛かり増しとなる運賃部分を助成します。(単価、金額については検査場所、地区で異なりますので、全ての検査終了後に精算し助成します)

### (2) 搬入用資材(パレット)への助成

フレコン出荷に伴う搬入用資材(パレット)の新規購入、更新の取得費用の一部を助成します。

#### 助成金額

搬入用資材(消費税込みの金額)の20%以内とし1農家あたり5万円(税込)を上限とします。

### (3) 助成金支払時期について

運賃助成・搬入用資材助成については、12月末までの申請とし、翌年3月末までの支払いとします。

詳しくは各営農課か本所米穀課までお問合せください。

## ■飼料用米のフレコン出荷および農産物検査について

### (1) 出荷に伴う留意点

- ①主食用米とのコンタミを防ぐため、主食用米終了後の乾燥調製を基本としてください。
- ②飼料用米以外のほ場から収穫された米（くず米など）を飼料用米として出荷する行為は交付金の不正受給となり、摘発の対象となります。県外で摘発される事例が報告されています。飼料用米制度を根幹から揺るがしかねない行為となりますので絶対に行わないでください。

### (2) 検査規格

- ①等級区分は「合格」と「規格外」の2区分となります。
- ②水分の最高限度は食用と同じ16.0%以下。
- ③被害粒は「発芽粒」「病害粒」「芽くされ粒」に限定し、「虫害粒」「胴割粒」「奇形粒」「碎粒」などは被害粒としません。
- ④形質の項目もありませんので、「充実」「粒ぞろい」「肌ずれ」「心白」「腹白」も判定しません。  
※交付金数量支払の対象は「合格」のみとなります。  
※規格外は飼料用米として出荷されますが、交付金の対象とはなりません。

### (3) 品質・量目

- ①検査するフレコン全ての品質と水分が均一であることとします。フレコン内で層になったり、品質が均一でないものは規格外となります。フレコン複数本であってもすべて同一品質が前提となります。
- ②皆掛重量が971kg以上（正味重量960.0kg＋入目重量8.0kg＋フレコン重量3.0kg）
- ③飼料用米は、ほ場から収穫された米、くず米も含め全量出荷となります。端量は重量にかかわらずフレコンで出荷してください。端量の入目はありません、フレコン重量を除いた正味重量となります。

## ■令和4年産 水田活用米穀等の精算方法について

### 水田活用米穀の精算方法

昨年までは加工用米・新規需要米などは、取引先の需要に応じた数量が求められることからJAが作付けを配分したり、同じ新規需要米であっても契約によって販売価格が異なるため、当JAでは「プール精算」をしておりましたが、3年産から「水田リノベーション事業」が施行され、県設定や市設定の交付金の内容が多種多様となっていることから、水田活用米穀（加工用米・米粉用米・輸出用米）につきましてはプール精算は行わないこととし、以下のとおり精算します。

また、飼料用米につきましては、昨年同様の精算方法とします。

## ●加工用米・輸出米・米粉用米

地 区	全 地 区		
	加工用	輸出用米	米粉用米
見 込 数 量 (俵)	135,024.5	2,166.0	8,176.5
販 売 終 了 予 定	6 年 3 月	6 年 3 月	6 年 3 月
精 算 予 定 時 期	6 年 6 月	6 年 6 月	6 年 6 月

※加工用米・輸出米・米粉用米の作付けは主食用品種で一括管理方式になりますが、加工用米・輸出用米・米粉用米それぞれで精算しプール精算は行いません。

## ●飼料用米

地 区	飼料用米協議会 (600ha)		協議会以外 (増加分)
	遊 佐	酒・八・平・松	酒・八・平・松
販 売 予 定 単 価	25円/kg	25円/kg	20円/kg
取 組 面 積	446.2ha	153.8ha	825.0ha
見 込 数 量 (ト ン)	2,663.0	940.8	5,050
見 込 プ ー ル 単 価	25円/kg	20.8円/kg	
販 売 終 了 予 定	6 年 3 月	6 年 3 月	
精 算 予 定 時 期	6 年 6 月	6 年 6 月	

- (1) 当初からの計画であった600haを協議会の面積とし、超えた面積については別途販売単価を設定します。
- (2) 遊佐地区を中心とし、協議会の中で価格設定を行ってきた経過があるため、遊佐地区分については全て600haの内数とし、「遊佐地区」と「酒田・八幡・平田・松山」を分けて精算を行います。

## ■令和4年産「新規需要米」「大豆」の取り扱いについて

### 1. 令和4年産新規需要米（飼料用米・米粉用米）の取り扱い

#### (1) 飼料用米「ふくひびき」

今年産のJA飼料用米は1,425haとなり、従来同様に共乾施設利用と個人調製出荷を取り扱います。搬入する施設や倉庫については、荷受(刈取)計画、入庫計画などでお知らせします。

●地区別取組状況

(単位：a)

地 区	共乾施設利用		個人調製	合 計
	作付面積	施設名	作付面積	作付面積
西 荒 瀬	2,181.8	西荒瀬CE	65.3	2,247.1
酒 田 北 部	2,089.9	西荒瀬CE・平田中央CE	404.3	2,494.2
鳥 海	166.8	本楯CE	4,273.4	4,440.2
本 楯	8,831.5	本楯CE・西荒瀬CE(直播)・平田中央CE	945.5	9,777.0
上 田	5,536.3	上田CE・一条CE・平田中央CE	647.3	6,183.6
北 平 田	3,146.9	平田第一CE・平田中央CE	3,708.8	6,855.7
東 平 田	7,345.5	東平田CE・平田中央CE	351.9	7,697.4
中 平 田	5,790.7	平田第一CE・みずほCE・平田中央CE	1,465.3	7,256.0
広 野	5,043.8	広野CE・みずほCE	1,003.7	6,047.5
浜 中	0.0		2,392.1	2,392.1
新 堀	5,542.7	新堀CE・平田中央CE	2,714.0	8,256.7
酒 田	4,496.7	みずほCE	0.0	4,496.7
旧酒田地区計	50,172.6		17,971.6	68,144.2
八 幡	4,578.7	一条CE	5,414.8	9,993.5
平 田	6,861.8	平田中央CE	4,809.8	11,671.6
松 山	5,378.0	南部MRC・平田中央CE	2,717.9	8,095.9
遊 佐	12,386.0	遊佐中央CE・当山RC	0.0	12,386.0
稲 川	13,887.1	南西部CE	0.0	13,887.1
西 遊 佐	55.3		0.0	55.3
蕨 岡	8,696.6	遊佐中央CE	0.0	8,696.6
高 瀬	9,147.2	当山RC	0.0	9,147.2
吹 浦	446.8		0.0	446.8
遊佐地区計	44,619.0		0.0	44,619.0
合 計	111,610.1		30,914.1	142,524.2

※<施設利用料金>60kgあたり税込み1,324円(昨年同様)

(2) 米粉用米「はえぬき」

今年産の米粉用米「はえぬき」は、80haとなりました。

共乾施設利用者による加工用米と同様の一括管理での取り組みとなりますので、各利用施設の「はえぬき」の刈取計画に基づき対応願います。

## ●地区別取組み状況

(単位：a)

地区名	作付面積	施設搬入面積	施設名
西 荒 瀬	721.3	842.7	西荒瀬CE
酒 田 北 部	121.4		
北 平 田	1,346.3	2,260.8	平田第一CE
中 平 田	914.5		
東 平 田	1,999.6	1,999.6	東平田CE
広 野	916.6	916.6	広野CE
新 堀	1,147.1	1,147.1	新堀CE
八 幡	835.9	835.9	一条CE
合 計	8,002.6	8,002.6	

※<施設利用料金>各施設の一般米利用料金と同額とします。

## 2. 令和4年産大豆の取り扱い

令和4年産大豆は従来同様「JA庄内みどり米・大豆生産履歴記帳運動」に基づき、仕分集荷および搬入施設の指定によりスムーズな集荷・調製・管理に努めます。

また、仮渡金および施設利用料金については、前年同額とさせていただきます。

### (1) 仮渡金

- ①大豆荷受重量に対して**1kgあたり29円(税込)**の仮渡しを行います。
- ②仮渡金の支払い時期は、**12月下旬(荷受開始日～最終荷受けまで)**を予定しています。  
※大豆の製品数量・等級が確定しましたら、3月末を目途に概算精算を行います。

### (2) 施設利用料金

- ①荷受重量**1kg当たり29円(税込)**の施設利用料を徴収します。
- ②利用料の徴収時期は、**12月下旬(仮渡しと同時期)**を予定しています。

### (3) 荷受時期

- ①10月下旬～11月上旬を計画しています。
- ②栽培履歴記録書の内容を確認し、仕分集荷を各施設で実施します。
- ③**搬入時は必ず施設関係者の指示に従い、荷受け終了まで立会ください。**

#### (4) 刈り取り時の注意

- ①水分17%以下を厳守してください。
- ②異物(イナゴ・雑草など)や土の混入、植物汁による着色には十分注意してください。
- ③生産基準に基づく刈り取り仕分けを行い、各施設に搬入してください。

#### (5) 施設稼働計画

大豆担当者・施設関係者との連携を踏まえ、効率的な荷受体制と施設稼働を計画します。

#### ●令和4年産大豆施設稼働計画 (出荷契約面積合計760ha ※種子大豆含む)

